事例No.	2485
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	八女市大淵区

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・観光 ・地域運営組織

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

「元気で、輝く大淵地区づくり」

出典

令和3年度優良事例表彰一覧

全国過疎地域
連盟会長賞

八女市大淵区（やめしおおぶちく）

「元気で、輝く大淵地区づくり」



耕作放棄地を開墾し、コメと花を植えた棚田は、稲穂の黄金色と彼岸花の赤色のコントラストが絶景となる。

事例の概要

人口減少の著しい八女市大淵区では、人口の減少を食い止めることはできなくても、地域を元気いっぱいにできるよう、地元住民や有志等により平成 23 年度から様々な取り組みを行っている。

耕作放棄地の棚田を地域の子どもや高齢者が協力して住民自らが開墾し、田植えと花の栽培を行う「コメ花プロジェクト」では、地域の子ども会や高齢者の協力を得て、95a の耕作放棄地を開墾し、米や花の栽培及び農産物の販売を行っている。

また、地域の新しい夏祭り「大淵献燈祭」は、死者の霊を弔う祭りとして参加者を募り実行委員会を立ち上げ、平成 26 年度より始まった。お祭りで使用する燈篭には、八女市の伝統技術「和紙」と「竹ひごの加工技術」が活用されている。

「コメ花プロジェクト」及び「大淵献燈祭」の実施により、地域が八女市の新たな観光スポットとなり、地域の活性化や交流人口の増加に寄与している。



大淵献燈祭は、先人への感謝と故人との再会の場、そして未来への繁栄を願い毎年８月 14 日に開催される。

評価のポイント

八女市大淵区は、矢部川水系の中流域に位置し、茶と棚田での稲作を主体とした旧黒木町の中山間地域であり、417 世帯 959 人、高齢化率 55.8%（2021 年 8 月末現在）と人口減少が続く局面にある。

大淵区では、平成 21 年に大淵地区自治運営協議会を設立し、地域の諸団体を取り込む形で８つの部会による活動を展開し、「コメ花プロジェクト」は公民館部会の活動として平成 23 年に始まった。耕作放棄されていた棚田で彼岸花の群生地でもあった 95a を開墾、米の作付けを復活し、子どもたちと田植えや稲刈りを行ったり、花を植えて、定期的に草刈り作業も続けている。再生した棚田の無農薬米は毎年完売し、贈答用に販売する「舞姫のロマン」も好評を博す。また、彼岸花が満開となる秋口には直売所を開設し、常連の来訪者との交流が活動の張り合いにもなっている。再生した棚田は、地区の中心部から離れた高台にあり、長距離の水路管理作業にメンバーが加勢することで、周囲の農家の負担も軽減し喜ばれている。

大きな燈篭を夜空に上げ、死者を弔う「大淵献燈祭」は、地域の夏祭りの伝統が長く途絶え、それを昔経験していた若手の「さみしい」という声を受けて、平成 26 年に立ち上がった新たな夏祭りである。フィリピンのスカイランタンに着想を得て、試行錯誤の末、地域の伝統技術である「和紙」と「竹ひごの加工技術」を組み合わせた燈篭作りに成功したことから、高齢化してきた「コメ花プロジェクト」のメンバーに加え、地域の活動を後輩たちに伝えたいと幅広く声をかけ、実行委員会方式で運営する。地域の出身者もお盆を目指して帰省するようになり、また周辺からもお盆の弔いに燈篭を上げてもらいたいと依頼も入るなど、今では 100 個近い燈篭を手作りするまでになり、地元行事に根付いてきた。

このように２つの取り組みは、大淵区における有志の新たなチャレンジであり、地域づくりの息吹を次世代につなぐ大事な活動に育ちつつある。コメ花プロジェクトを通して、棚田が地域の象徴的な拠り所として見直された意義は大きく、この経験を周囲の地域資源の保全にどう活かすか、次世代の担い手育成も必要となろう。担い手の世代交代を見据えて、地域の行事や組織を見直していく「棚卸し」作業が求められる中で、大淵献燈祭は、地域住民の間、また世代間の風通しをよくする好機であり、上世代のリーダーたちもその場づくりを意識している。各々の取り組みに込められた地域の将来に寄せる志を高く評価し、次の展開を大いに期待したい。



稲刈りは、子どもも大人もみんなで行い、農作業に汗をながし、収穫の喜びを体験する。



棚田近くでは、期間限定の直売所を設置し、棚田米の予約販売受付や地元住民による地元農産物が販売される。



献燈祭に使用する燈篭は、地域の伝統文化である「竹ひごの加工技術」を組み合わせて、ひとつひとつ手作りする。

DATA

福岡県 八女市（やめし）

団体名▶八女市大淵区
所在地▶〒 834-1201 福岡県八女市黒木町大淵 3979-1
連絡先▶ TEL：0943-45-1163
E-mail：komehanapro@gmail.com

【交通のご案内】

自動車▶九州自動車道　八女 IC より約 35 分
九州自動車道　広川 IC より約 40 分
鉄　道▶ JR 鹿児島本線を利用
博多駅より羽犬塚駅まで約 1 時間
羽犬塚駅から車で約 45 分



● 国勢調査人口　（単位：人）

市町村名	昭和 35 年	昭和 55 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
八女市	101,573	85,078	76,689	73,262	69,057	64,408

●人口増減率　（単位：%）

市町村名	H27/S35	H27/S55	H27/H12	H27/H17	H27/H22
八女市	-36.6	-24.3	-16.0	-12.1	-6.7

● 高齢者・若年者比率（H27 年）　（単位：%）

市町村名	高齢者比率	若年者比率
八女市	33.3	12.5